

## 平成26年度 児童生徒の体力・運動能力調査結果の概要

### 1 調査の目的

本県の児童生徒の体力・運動能力及び生活に関する実態を把握し、体育・スポーツ活動振興の基礎資料とするとともに、各学校における体育指導等に活用する。

### 2 調査の対象

校種	学校数	学年	人数
公立小学校	221校	4・5・6年	30,928人
公立中学校	87校	1・2・3年	31,610人
公立高等学校(全日制)	40校	1・2・3年	22,687人
合計	348校		85,225人

### 3 調査の内容

#### (1) 新体力テスト

- ① 握力
- ② 上体起こし
- ③ 長座体前屈
- ④ 反復横とび
- ⑤ 20mシャトルランか持久走  
(小はシャトルラン、中高は選択)
- ⑥ 50m走
- ⑦ 立ち幅とび
- ⑧ ソフトボール投げ(小)、ハンドボール投げ(中高)

#### (2) 生活調査

- ① 運動部や地域スポーツクラブへの所属状況
- ② 運動やスポーツの実施状況
- ③ 1日の運動・スポーツの時間
- ④ 朝食の有無
- ⑤ 1日の睡眠時間
- ⑥ 1日のテレビの視聴時間  
(テレビゲームを含む)

### 4 調査の結果(体力合計点) ※体力合計点とは、新体力テストの8項目の記録を1点から10点に得点化し、合計したもの。

#### (1) 体力合計点の全体平均

体力合計点 (点)					
年度	H22	H23	H24	H25	H26
全体平均(男女)	51.66	51.76	51.82	51.93	52.19

(小4～高3) 9学年

#### (2) 体力合計点の学年別平均

男子	H22	H23	H24	H25	H26
小4	49.98	50.34	50.09	50.21	50.04
小5	55.88	56.06	56.20	56.03	56.40
小6	61.91	62.01	61.80	61.98	62.15
中1	34.80	34.59	34.83	34.89	35.41
中2	44.10	44.13	43.92	44.12	44.35
中3	50.79	50.84	50.76	50.84	51.42
高1	50.76	51.65	51.45	51.41	51.60
高2	56.18	55.72	57.02	56.71	56.19
高3	58.21	58.79	58.39	59.09	58.75
平均	51.10	51.14	51.17	51.25	51.34

女子	H22	H23	H24	H25	H26
小4	49.46	49.85	50.17	50.51	50.65
小5	56.50	56.06	56.67	56.53	57.33
小6	61.78	62.12	61.52	61.98	62.27
中1	44.51	44.41	44.34	43.87	44.62
中2	50.02	50.24	49.95	50.89	50.59
中3	51.75	52.15	52.26	52.34	53.70
高1	50.13	49.89	50.21	50.79	50.87
高2	52.52	52.47	52.61	52.72	53.36
高3	52.88	53.72	54.12	53.60	54.02
平均	52.23	52.38	52.49	52.63	53.05

### 5 「平成26年度」と「過去10年間の平均」の比較

#### 男子

項目	区分	小学校			中学校			高等学校		
		4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
体力・運動能力	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	▲
	反復横とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	持久走	/			○	○	○	○	○	○
	20mシャトルラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m走	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	立ち幅とび	▲	▲	▲	○	○	○	○	▲	○
	ボール投げ	▲	▲	▲	○	○	○	▲	▲	○

#### 女子

項目	区分	小学校			中学校			高等学校		
		4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
体力・運動能力	握力	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	○
	上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	反復横とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	持久走	/			○	▲	○	○	○	○
	20mシャトルラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50m走	-	○	-	-	-	○	○	○	○
	立ち幅とび	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲

(注) ○: H26が上回っている。

▲: H26が下回っている。

-: H26と過去10年平均が同じ。

は、当該学年にない項目。

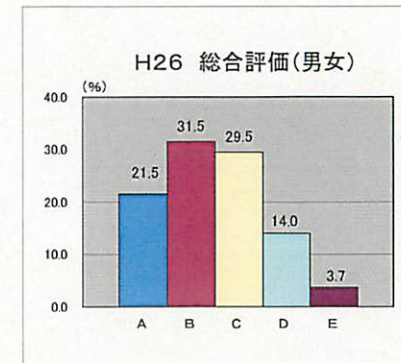
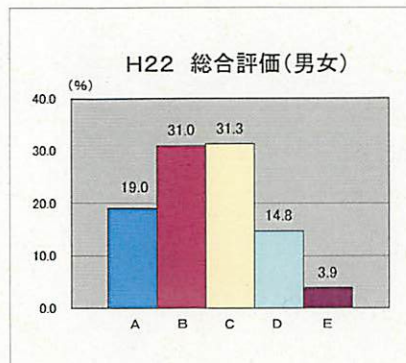
中・高等学校は、「持久走」または「20mシャトルラン」のいずれかを選択する。

6 総合評価の状況 ※総合評価とは、新体カテストの項目の得点を合計し、総合評価基準表にあてはめたもの。

(1)【全体(男女)】

総合評価(段階別割合) (%)					
年度	A	B	C	D	E
H22	19.0	31.0	31.3	14.8	3.9
H23	19.7	31.1	30.6	14.6	3.9
H24	19.9	31.2	30.6	14.4	3.9
H25	20.3	31.2	30.2	14.4	3.9
H26	21.5	31.5	29.5	14.0	3.7

- A 優れている
- B やや優れている
- C 普通
- D やや劣っている
- E 劣っている



(2)【男子(小中高)】

総合評価(段階別割合) (%)					
年度	A	B	C	D	E
H22	17.3	30.9	31.6	15.5	4.6
H23	17.9	31.3	30.7	15.6	4.5
H24	18.2	31.1	30.6	15.5	4.6
H25	18.3	31.0	30.6	15.5	4.6
H26	18.9	31.5	30.1	15.1	4.5

(3)【女子(小中高)】

総合評価(段階別割合) (%)					
年度	A	B	C	D	E
H22	20.6	31.0	31.1	14.1	3.1
H23	21.5	31.0	30.4	13.7	3.4
H24	21.6	31.3	30.6	13.3	3.2
H25	22.3	31.4	29.9	13.3	3.1
H26	24.2	31.4	28.8	12.8	2.9

7 まとめ

<調査結果の傾向>

- ・本県の児童生徒の体力・運動能力は、昭和60年頃から全国と同様に低下傾向を示していたが、その後の様々な体力向上への取り組みにより、近年は回復傾向を示している。
- ・26年度の調査結果の「体力合計点」及び「総合評価」からは、本県の児童生徒の体力・運動能力は、本県独自の悉皆調査を開始した18年度以降引き続き上昇傾向にある。
- ・体力合計点の学年別平均では、男女とも多くの学年で過去5年間での最高値を示した。
- ・26年度の項目ごとの平均値を過去10年間の平均値と比較すると、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(20mシャトルラン)、50m走は概ね全学年で上回っているが、握力、ボール投げの2項目では下回っている学年が多い。
- ・小学校では、上記の2項目に「立ち幅とび」を加えた3項目(握力、ボール投げ、立ち幅とび)が多くの学年で過去10年の平均値を下回っている。

<今後の取り組み>

- ・各学校において、県や国の体力・運動能力調査結果をふまえ、児童生徒の体力の課題を的確に把握するとともに、次年度の取組に反映するよう指導する。
- ・過去10年間の平均値を下回る3項目(握力、ボール投げ、立ち幅とび)に力点を置き、本県児童生徒の体力・運動能力をバランスよく向上させていく取組を推進する。
- ・握力やボール投げの低下については、重いものを持つ、木にぶら下がるなど日常生活の中で握力が鍛えられる機会が減ったことや、雲梯や棒登りをはじめ、ソフトボール遊びなどの屋外での運動経験が少なくなったためと考えられることから、下回っている3項目を向上させる実践研究を継続するとともに、各学校の実態に即して、体育の授業以外の時間を活用し、握力やボール投げの向上を図るため、鉄棒運動やボール・ラケット・なわなどを使った運動(遊び)を多くするよう働きかける。
- ・2月の「体力アップ研究協議会」において、今年度、体力向上プランの実践研究で取り組んだ握力を向上させるための運動実践例を示し、各学校において体育の授業や平成27年度以降の「体力アップ1校1プラン」に積極的に取り入れるとともに、学校全体で実践するように指導する。